



新年のご挨拶

昭和大学病院附属東病院 病院長 稲垣 克記

90th
SHOWA University
至誠一貫 Since 1928

新年あけましておめでとうございます。



昭和大学病院・附属東病院は昨年、厚生労働省から全国に指導がありました「働き方改革」の一環として、変則シフト勤務制と土曜日週日化制を特定機能病院としては全国に先駆けて開始いたしました。また、昨年度は学会主導で行われていました各診療科における専門医制度は、本年4月1日からは日本専門医機構管理のもとにはじまり、その準備として大学は研修センター管理下の専攻医制度がはじまっています。さらにはこの1月1日からははいよいよ両病院で電子カルテ化が導入されました。電子カルテ化により情報が共有できる幅が広がり、4附属病院の連携も可能となりました。

このように今、昭和大学病院・附属東病院は激動のまっただ中にいます。いかに学校法人と昭和大学病院・附属東病院が共に連動・連携しながら和をもって開学90周年を迎える私学の素晴らしさを背景に機能的に高いレベルにまで改革してゆけるか、まさに今年が勝負の年といっても過言ではないでしょう。次のステップとしてこれらの改革が本当に正しい歩みなのか検証と評価（アウトカム）が必要となります。関係各位のご理解とご協力を切にお願いいたします。

さて、世は人工知能が一世を風靡する時代ですが、2002年にノーベル賞を受賞したダニエル・カーネマン氏によれば、人間の知能は2つのシステムに分かれるそうです。

システム1 直感 感性（速い思考）

自動的に高速で働き、努力は必要であってもわずかである。また、自分のほうからコントロールしている感覚は一切ない。（自動的、速い、連想的、感情的）

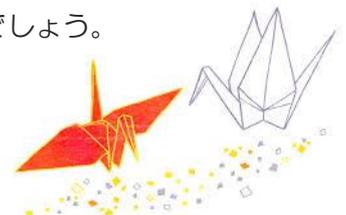
システム2 深く考える（遅い思考）

一連の段階を踏み時間を充分かけ順序立てて考えを練り上げる。（努力を要す、遅い、意識的、客観的）

基本的にシステム1はヒューリスティックな思考（これまでの経験や知識をもとに直感的に判断する）であり、システム2は合理的・論理的な思考と考えていいでしょう。試験やクイズの時は時間が限られているのでシステム1の早く人工知能のように効率的よい才能が輝きますが、患者の病態を把握し診断をつけるには人工知能にはない「深く考える」ことが必要になります。単なるデータ解析ではなく「深く考える」という営みをくり返すうちに自然と思考力が磨かれ、研ぎすまされた感性と「何か変だ」という臨床上最も大切な、いわゆる「勘」が培われてゆくはずで



病院における医師、看護師をはじめコメディカルの直面する医療安全を考えるにあたり、危機管理を理解し解明する理論の原点がこのカーネマン氏の行動経済学が教えてくれるような気がいたします。医学の発展とともに医療を施す医師らにはこの両者の才能をいかにバランスよく発揮してゆくかが重要であり、これら2つの思考システムをいかにインテグレート（相互関与と統合）してゆくかがより大切であります。おそらくこれらの思考過程を我々は無意識に経験や英知を通して統合し行っているのでしょう。いずれにせよ、われわれは人工知能を活用しながらも、両システムをバランスよく構築し、なによりも人工知能にはない新たな医学・医療へのパッション（熱情）や患者・家族はもちろん次の世代を担う研修医や後輩への情とヒューマニティーを高めてゆく事が肝要といえるでしょう。



「患者さんを苦しみから解き放つ」 その言葉をスローガンに日々診療に取り組んでいます

当診療科に関連する疾患（関節リウマチや全身性エリテマトーデス、血管炎症候群など）の治療は分子を治療標的とする抗サイトカイン製剤、低分子化合物などの開発により日進月歩の進化を遂げております。そのため当科の治療方針は国内あるいは国外の診断治療ガイドラインを基本に、当診療科で行っている新規治療法や最先端の臨床試験などを参考に、一人ひとりの患者さんにとって最良の治療方針をオーダーメイドで計画し、同意の上に行っております。

診療体制

関節リウマチは、MTX（メトトレキサート）を中心とした抗リウマチ薬を使用するのみならず、インフリキシマブ、エタネルセプト、トシリズマブ、アダリムマブ、アバタセプト、ゴリムマブ、セルトリズマブペゴルなどの生物学的製剤を比較的早期から積極的に投与しており、多くの患者さんが寛解状態になっております。また、関節リウマチ以外の膠原病（自己免疫性疾患）については標準的なステロイド治療に加えて免疫抑制剤（シクロフォスファミド、シクロスポリン、アザチオプリン、タクロリムス、ミコフェノレートモフェチル、リツキシマブなど）を併用し、必要に応じて大量ガンマグロブリン療法や血漿交換療法を併用するなどの総合的治療を行っており、治療成績の改善や入院期間の短縮化が得られています。

特徴的な治療領域

・難治性 ANCA 関連血管炎に対するリツキシマブ療法

ステロイドやシクロフォスファミドに治療抵抗性 ANCA 関連血管炎に対してリツキシマブ療法を行っております。今後リツキシマブは膠原病領域での適応が拡大していくものと思われ、必要な症例には積極的に使用を考慮していきます。

・リウマチ膠原病内科母性内科外来

関節リウマチや膠原病の若い患者さんにとって妊娠・出産といったライフイベントと治療の両立は非常に大切なテーマです。より安全な妊娠・出産をサポートするためには妊娠に伴う生理的な変化を理解した上で、週2回の専門外来を通じて妊娠を希望する患者さんに寄り添った最善の医療を提供できるよう日々取り組んでいます。



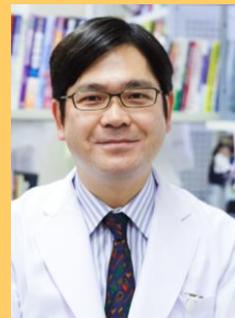
《外来は女性医師が担当します》

斎藤 麻由、三浦 瑤子(写真左)、磯島 咲子(写真右)

リウマチ・膠原病内科 診療科長代行：三輪 裕介 (Miwa Yusuke)

趣味：鉄道旅行

私たちの診療科では毎日午前午後と専門医が初・再診患者さんの診察を行っております。関節リウマチ、膠原病、膠原病類縁疾患などの他にも関節炎・関節痛などの症状が続くなどの患者さんがおられましたら、ご紹介いただけましたら幸いです。確定診断から治療方針の決定、症状の安定化などの後に積極的に病診連携（とくに逆紹介）を行っております。また、緊急の入院加療の相談も電話その他でいただければ迅速に対応いたします。また、セカンドオピニオン希望のみの受診も広く受け入れております。



Q. どういったお仕事に携わっているのですか？



私たちのクオール株式会社は、調剤薬局を運営している会社ですが、病院内の売店を全国で24店舗運営しています。内訳はホスピタルローソンを9店舗（昭和大学様で6店舗）、病院内売店を14店舗、警察学校の売店を1店舗運営しています。ホスピタルローソンでは、歯ブラシや下着などの生活用品や、T字帯など入院生活に必要なものをはじめ、介護用品やリハビリ用品に至るまで約3,000品目以上の医療衛生用品を販売しております。また、病棟までお伺いするワゴンサービス（移動販売）を実施し、患者様の入院生活をサポートしています。

Q. 何か思い出に残るメッセージをお願いします。



「ホスピタリティ」、サービス業のみならず最近では医療現場などでも頻繁にこの言葉が使われるようになりました。以前、「病院内のコンビニはこれでいいのか！」とのお叱りを頂戴したことがあります。路面のお店と違い病院店こそ「ホスピタリティ」の精神が必要なのだ痛感いたしました。それからは、お客様を心から大切に思って、「笑顔で」「素早く」「丁寧に」対応する「ホスピタリティ」の接客を心がけています。



ローソン店員の皆さん

いつもお昼休憩の時に利用させていただいております。ありがとうございます！

～このコーナーでは専門資格を有している熱血メディカルスタッフの方を紹介します～



Q. 患者さんに対してのメッセージをお願いします。

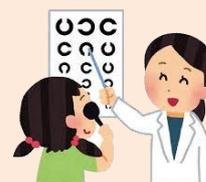
視能訓練士は、1971年に制定された視能訓練士法に基づく眼科医療技術者です。当初は主に小児の斜視や弱視の検査・訓練に携わる専門職として設けられた資格ですが、現在ではそれに加え、乳幼児から大人の方までを対象に、広く眼科検査全般を受け持っています。視力検査、視野検査をはじめとする視機能検査や眼底写真撮影など、眼科は自科で行う検査が多数あります。昭和大学病院附属東病院では8名の視能訓練士が主に1階眼科外来内の検査室でこれらの業務にあたっています。



附属東病院 眼科外来
田島 由起子さん

Q. どういった専門資格でどういった仕事をしているのか。

一口に「見えにくい」といっても、ぼやける・物が二重に見える・まぶしい・視界が狭いなど様々な要素があります。検査中見え方について気になることがありましたら、どうぞ気兼ねなくお話しください。私たちは、患者さんとお話をしながら、患者さんの「見えにくい」がどんな種類のものなのかを見極めて検査をすすめていきます。そして、最善の治療や快適な見えかたへとつながる最初の扉を開くお手伝いができるよう、日々力を尽くしていきたいと考えています。



手術室だより

周術期医療チームによる麻酔科術前外来って知っていますか？

近年、手術を受ける患者さんは、様々な疾患を持ち、複数の診療所や病院から薬が処方されている場合も少なくなく、外科医師一人で患者さんの手術前後（周術期と言います）の全てを管理することが難しくなっております。そこで、麻酔科医師や歯科医師、看護師、薬剤師をはじめとする多くの職種による周術期医療チームの活躍が期待されています。昭和大学病院の麻酔科術前外来では、麻酔科医師、看護師、薬剤師がチームとなり、それぞれの得意分野を活かして、患者さんの疾患やお薬を確認して、より安全に手術が受けられるよう活動しています。

実際にはこのような診察を行っています。

手術予定の患者さんに中央棟 5 階の麻酔科術前外来に来ていただき、薬剤師、看護師、麻酔科医師の順にお話を伺います。薬剤師は服用しているお薬やサプリメント、お薬をのんで体調を崩したことがないかを確認し、周術期を安全に過ごすために必要があればお薬の中止や代替を提案します。

次に、看護師は手術室での過ごし方の説明やメガネ、補聴器など持っていく物の確認をし、血圧や呼吸機能を測定します。麻酔科医師は全身状態や気道などの診察を行い、それに基づいて麻酔方法を決定し、麻酔について説明します。また、必要がある患者さんには、歯科受診の紹介をします。このように、周術期医療チームは多面的に患者さんの状態を評価することで、安全に手術を受けてもらえるよう努力しています。



開催報告 院内コンサートが行われました

11月25日（土）昭和大学病院中央棟1階ロビーで、この時期恒例の昭和大学管弦楽団による、第82回院内コンサートが開催されました。コンサート準備の設営・患者搬送から、音出し、本番の演奏、終了後の片付けとボランティアとしても参加をしてくれました。演奏も、普段の練習の成果を十分出し切り、若さ溢れる初々しい演奏で、最後は管弦楽団の演奏で「ふるさと」を合唱しました。



【当日の様子】

～患者さんからのコメント～

- ・明日退院の前夜に素晴らしいコンサート、フレッシュレディー・フレッシュマンにプレゼントして頂きこんな素敵なことは無いと・・・と感動しています。ありがとう！
- ・久しぶりに優しい音色を聴き癒された。選曲も良かった。



開催報告

平成 29 年度昭和大学病院・附属東病院医療安全週間

今年度の医療安全推進週間を平成29年11月21日から30日まで実施しました。

今年度は「お薬手帳」をテーマにしました。期間中に在院・来院された方へ「患者さんの持参薬等の情報を正しく確認するためにお薬手帳を携帯していただく」ことへのご協力をいただきたい旨を添えたポケットティッシュの配布を致しました。

その他、例年の院内各部署の医療安全に関する取り組みを紹介する「医療安全活動自慢」と「安全標語」の掲示も行いました。皆様からの投票の結果、下記の取り組みが最優秀賞に選ばれました。

今後も様々な活動を通して、医療安全の推進を図って参ります。

活動自慢最優秀賞

《大学病院》N11『シナリオなしの防災訓練』
《東病院》E3『DVT発生予防』への取り組み

安全標語最優秀賞

《大学病院》CCU『慣れたころ 遠く初心と 増す危険』
《東病院》医事係『安全は一人じゃ守れない！声がけ！
指差し！忘れず！』



《ポケットティッシュ》

《←安全自慢と標語の掲示の様子》



『医療安全推進週間』とは、平成13年に開始された「患者の安全を守るための共同行動(PSA)」の一環として、医療機関や医療関係団体等における取り組みの推進を図り、また、これらの取り組みについて国民の理解や認識を深めていただくことを目的として、毎年11月25日(いい医療に向かってGO)を含む1週間を「医療安全推進週間」として設けています。行政機関、医療関係団体、医療機関、製造団体等においては、この週間を中心に医療安全向上のためにシンポジウムの開催や研修の実施など様々な取り組みを進めています。

(厚生労働省ホームページから一部抜粋)

開催報告

キャンドルサービスを行いました

12月19日(火)、昭和大学医学部附属看護専門学校学生によるキャンドルサービスが行われました。キャンドルの炎で病棟を照らすことで入院生活の中に希望を持っていただいたり、入院中の患者さんにクリスマスの雰囲気を感じていただくことを目的としております。今年も学生の美しい歌声が病棟全体に響き渡り、一足早いクリスマスを迎えられました。



【看護学校の学生さんが病棟を回る様子】

～キャンドルサービスに参加して～

厳かな空気、キャンドルの灯り、穏やかな笑顔に包まれ、心温まる貴重な体験ができました。未熟な私たちですが、闘病中の入院患者さんに少しでも癒しと希望をお届けできていたなら、とても嬉しくこれからの励みになります。

昭和大学医学部附属看護専門学校2年生

高橋 朋子さん

12月22日(金)昭和大学病院小児医療センターにてクリスマス会が行われました。当日は、クリスマスにちなんだ紙しばいや、クリスマスソングの合唱などと盛りだくさんの内容でした。

会の終わりには、病棟にサンタクロースとトナカイさんが現れ、子どもたちに素敵なクリスマスプレゼントが贈られました。突然現れたサンタさんを見て、子どもたちはびっくりしていましたが、一緒に笑顔でお写真を撮り、楽しい時間を過ごしました。



【子どもたちにプレゼントを渡す
サンタさんとトナカイさん】



【紙しばいに夢中になる子どもたち】

食事・運動習慣、生活習慣を見直す機会にしませんか？

ヘルシースクールは、「糖尿病に関する」患者さん向けの公開講座です。当日は講義だけでなく、クイズを取り入れたり、からだを動かしたりしながら学べる構成となっています。また、糖尿病内分分泌内科の医師も参加し、患者さんからの様々なご質問にもお答えいたします。食事や運動に興味のある方はどなたでもご参加いただけますので、ご家族をお連れしお気軽にご参加ください。

(事前予約が必要です、下記にてお申込みください)

日時：平成30年 **2月10日(土)** 11:00~12:30(食事編)

3月10日(土) 11:00~12:30(運動編)

場所：昭和大学病院 中央棟7階会議室・研修室

参加：先着順、参加費は無料、事前申し込みが必要なため

「03-5413-8922」にお問い合わせください。

(昭和大学病院ヘルシースクール事務局 一般社団法人ソーシャルユニバーシティ内)

※当院に受診歴がない方、ご家族の方でもご参加可能です



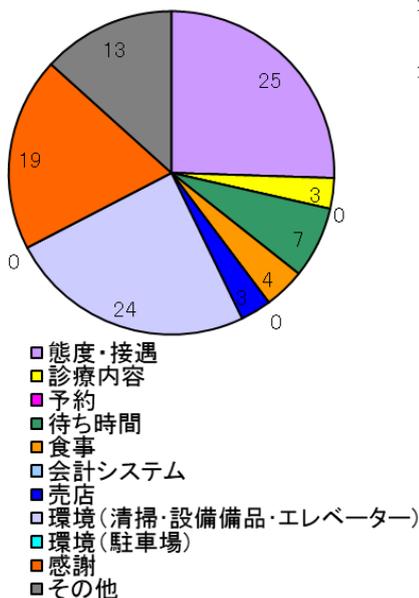
ご参加いただいた、患者さんからの声

- 先生に直接質問ができる機会があったので、色々なお話しが聞けて参考になりました。
- 健康に良い献立など、新しい料理のレパートリーが増え、有意義な時間でした。

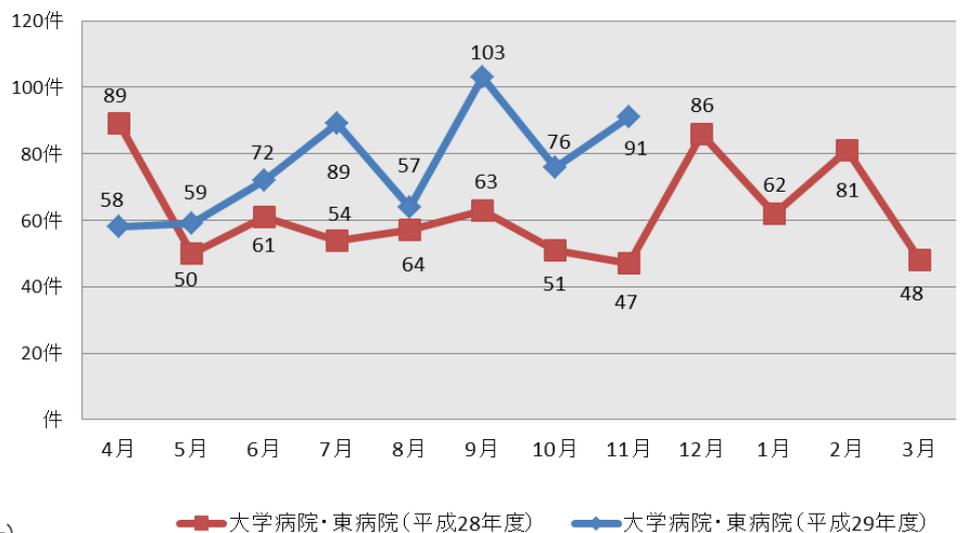


ご意見・要望	回答	回答部署
<p>私が経験した限りの大きな病院の中で、採血などで、針を刺すのが上手な人たちが1番沢山揃っている病院のように感じました。安心して刺して頂けます。また、親しみやすい方も多いと感じます。</p>	<p>この度は入院中に感じた様々なお言葉をいただき、ありがとうございました。 患者さんの言葉は私たちの励みにもなり、大変嬉しく思います。今後も、苦痛や不安を抱える患者さんが少しでも安心して治療を受けられ、より快適な療養環境で過ごせるように心がけて看護致します。ありがとうございました。</p>	看護部
<p>エスカレーターに乗っていたところ、後ろから駆け下りてきた病院の職員に当たられて危険な目に遭いました。エスカレーターは止まって乗るものであることを徹底してください。</p>	<p>この度は、職員への指導が不足し申し訳ございませんでした。 頂いたご意見を、院内の患者サービス向上委員会で取り上げて、啓発活動のポスター等で全職員への指導・周知を徹底することとしました。</p>	管理課
<p>食事ありがとうございます。朝、食事に果物があるとありがたいです。たまには、甘い物でも食べたいです。</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。 「果物」は1日の栄養量のバランスの関係で主に昼食に提供させて頂いております。 また菓子類につきましては、ご病気にもよりますが特に制限のない場合には、その他の食事の栄養量を調整して1週間に2回ほど提供させて頂いております。</p>	栄養科

平成30年1月掲載分
ご意見・要望の内訳
昭和大学病院・東病院総件数
98件



平成29年度ご意見・要望の推移



【第84回院内コンサート】

日時：平成30年1月27日（土）17:00～17:45

場所：大学病院中央棟 1階ロビー

出演：田園調布混声合唱団



編集後記

臨床検査室 渡邊 聡



あけましておめでとうございます。お正月はいかがお過ごしだったでしょうか。ゆっくりと過ごすことができましたか。お酒の飲みすぎや、お餅の食べ過ぎで胃腸が弱っていませんか。

春の七草には、胃腸を整え、消化を促進する作用や、利尿作用や解毒作用、むくみなどにも効果があるとされています。そんな春の七草を使った七草粥は、お正月明けの疲れている胃腸にも優しい食べ物と言えます。是非とも試してみてください。

これからが寒さの本番です。体調を整えて寒い冬を乗り切りましょう。



昭和大学病院・附属東病院の理念

- 患者さん本位の医療
- 高度医療の推進
- 医療人の育成

昭和大学病院・附属東病院の基本方針

- 患者さんと共にチーム医療を実践する。
- 特定機能病院及び地域の基幹病院として高度急性期医療を推進し、質の高い医療を提供する。
- 教育病院としての機能を充実し、質の高い医療人の育成を行う。
- 人間の尊厳及び人権を守りつつ、高度な臨床研究を実践する。

ご意見・要望につきましては、メールアドレス：tayori@ofc.showa-u.ac.jp までお願いいたします。

病院広報委員会委員： 荒川 千春、飯田 真由、磯飛 雄一、稲垣 克記、大嶽 浩司、佐藤 久弥、白井 敦、鈴木 隆、中村 清吾、平野 勉、結城 祐磨、吉田 仁、渡邊 聡（50音順）